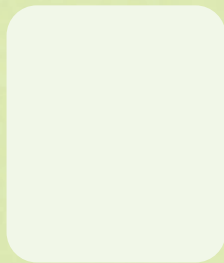
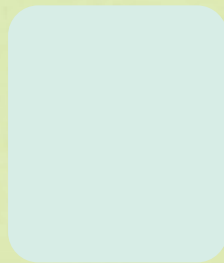
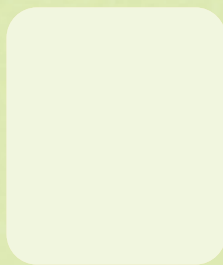
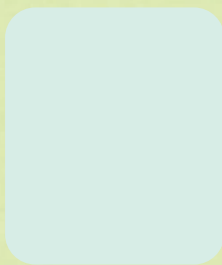


アレサガ[®]テープ^{4mg}_{8mg}を
ご使用されている方へ



アレルギー性鼻炎とは？

アレルギー性鼻炎は、花粉やハウスダストなどのアレルギーの原因となる物質（アレルゲン）によって生じる病気です。

花粉症

花粉が飛んでいる一定の季節に限ってくしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの症状が出ることから、季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。



花粉症（季節性アレルギー性鼻炎）の原因

- スギやヒノキなどの植物の花粉

通年性アレルギー性鼻炎

季節にかかわらず、くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの症状が起こります。



通年性アレルギー性鼻炎の原因

- ハウスダスト、ダニ、カビ（真菌）、ペットの毛など

アレルギー性鼻炎の主な症状

くしゃみ



鼻水・鼻づまり



目のかゆみ・涙が出る



熱っぽい・だるい・頭が重い



- そのほかにも、皮膚のかゆみ・炎症、せき・のどの痛みなどの症状がみられることがあります。

外出時・外出後の注意点は？

花粉症

メガネ・マスクを
着用する



花粉の付きにくい服を選ぶ
(表面に凹凸がない素材)



外出から戻ったら、
花粉をよく払い落とす



外出から戻ったら、
うがい・洗顔・目を洗う



ふだんの生活での注意点は？

通年性アレルギー性鼻炎

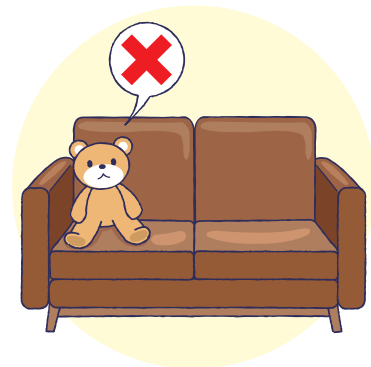
掃除機をこまめにかけて、
ハウスダストを溜めない



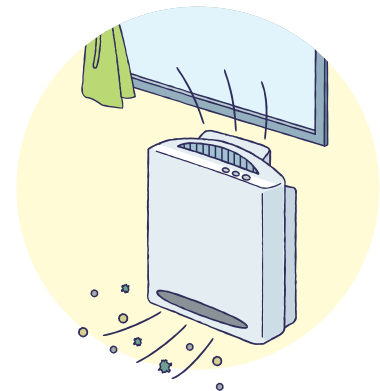
布団カバー・枕カバー・シーツ
などの寝具をこまめに洗濯する



ぬいぐるみやクロス(布)張りの
ソファをできるだけ置かない



空気清浄機を使って、
空気をきれいにする

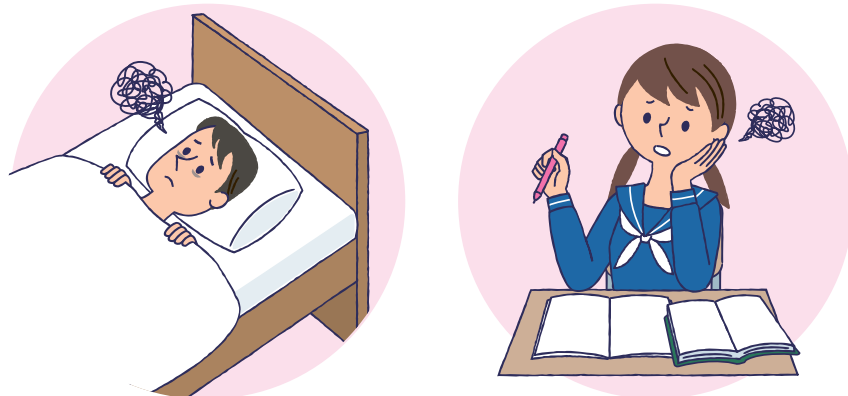


上のような注意をしてアレルゲンの影響を できるだけ少なくすることが大切です。

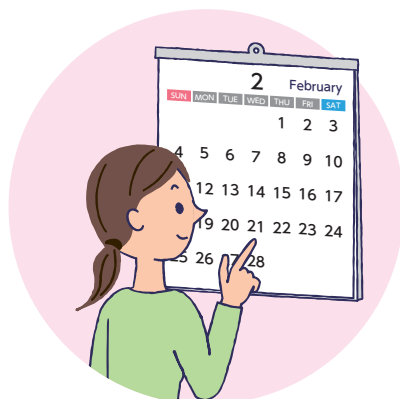
花粉症は早めの治療が大切です

花粉症は放置しておくと、症状が重くなって日常生活のパフォーマンスが低下し、勉強・仕事・家事などに支障をきたすことが知られています。

そうならないためにも、早めに治療をはじめることが重要です。



花粉症の治療は、花粉が本格的に飛散する2週間前からスタートすることがすすめられます。そうすることで、花粉が飛散するシーズンを通して症状を緩和することができるのです。



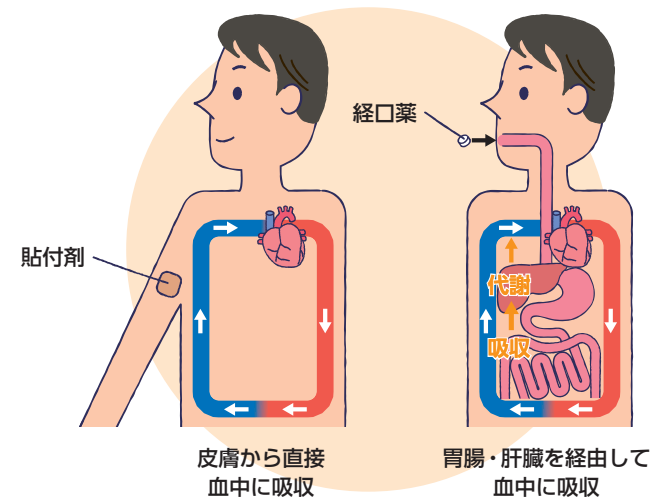
“貼る”お薬と“飲む”お薬

アレサガ®テープはアレルギー性鼻炎の貼付剤（貼るお薬）です。

皮膚に貼る



口から飲む



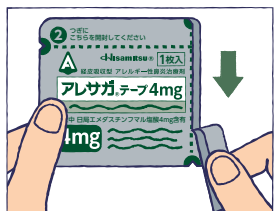
アレサガ®テープの使い方

貼り方

このお薬は貼付剤（貼る薬）です。袋の中にお薬が1枚ずつ入っています。
あらかじめ貼る場所を清潔にし、**水分や汗を十分に**
取り除いてください。

※4mgと8mgのお薬があります。使い方はいずれも同じです。

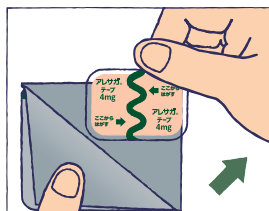
- ① 薬袋の2箇所を切り取ってから**薄いベージュ色のテープと透明なフィルム**を同時につまみ、ゆっくりと取り出してください。



先に①の番号のついて
いる側をミシン目に
そって切り取ります。

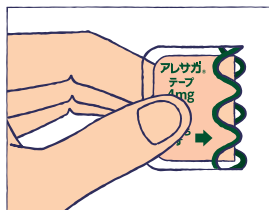


次に②の番号のついて
いる側をミシン目に
そって切り取ります。



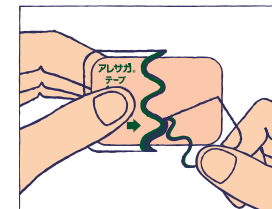
2箇所を切り取ってから
お薬を取り出します。

- ② お薬には、緑色でお薬の名前と「ここからはがす」と表示された透明なフィルムが付いています。（薄いベージュ色の方がお薬です。）

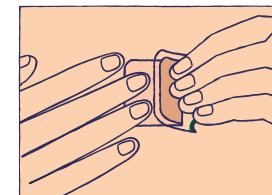


このフィルム面を上にして、フィルム中央の波型の部分をつまみます。（お薬を軽く2つ折りにするとつまみやすくなります。）

次に、どちらか一方のフィルムをはがします。
貼り付ける面に指が触れないように
注意してください。



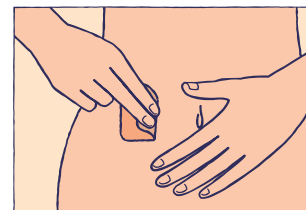
- ③ 残りのフィルムをつかんだまま、貼る場所（胸、背中、上腕、お腹のいずれか）にフィルムの無い方を貼り、手で軽く押さえてください。残りのフィルムをずらしながら全体を貼っていきます。



- ④ 貼った後は、手のひらでしっかり押さえてください。

はがし方（例）

皮膚を傷つけないために例えば以下のようなはがし方があります。

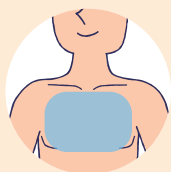


皮膚を押さえながら
ゆっくりはがしてください。

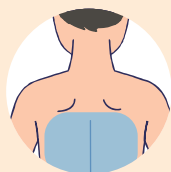
※お薬の粘着面に触れた手で目をさわらないようにしてください。
※お薬の粘着面に触れた手は、石鹸で洗ってください。

使用上の注意点

胸、背中、上腕、お腹のいずれか1箇所に貼ってください。



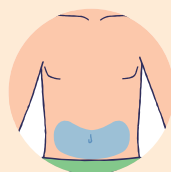
胸



背中



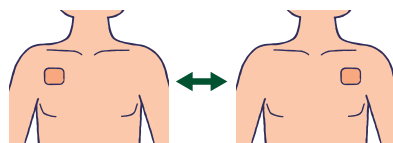
上腕



お腹

同じ場所に続けて貼ると、かゆくなったり、赤くなったり、かぶれるなどの皮膚症状があらわれることがありますので、貼付箇所を毎回変更してください。

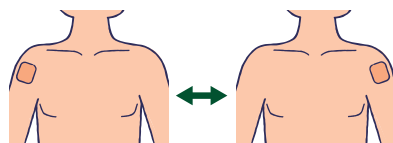
同じ場所の中で貼付位置をかえる例(胸)



右胸

左胸

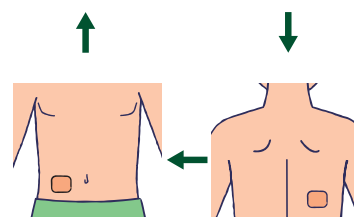
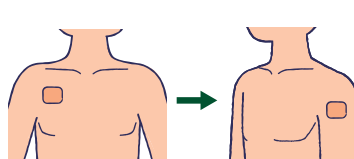
同じ場所の中で貼付位置をかえる例(上腕)



右上腕

左上腕

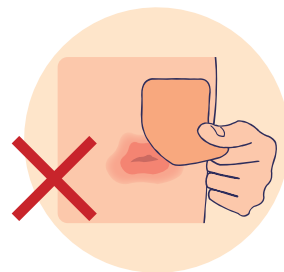
場所をかえて貼り替える例



● お薬を貼る際には、以下のことに注意して貼ってください。

1

「きず」や「けが」、
皮膚トラブルのある場所には
貼らないようにしましょう。



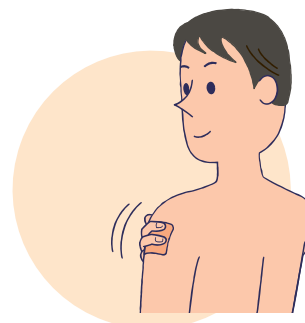
2

貼る場所の水分や汗を
十分に取り除いてください。



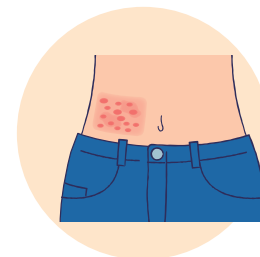
3

はがれることがありますので、
しっかり貼るようにしましょう。



4

皮膚がかぶれることも
あります。



使用上の注意点(続き)

- 5 使用するまでは袋を開けず、
開封したら速やかに貼ってください。
- 6 このお薬を使用する際には、
ライナーをはがして使用してください。
- 7 このお薬は1日毎に貼り替えてください。
入浴後の汗がひいた後など、時間帯を決めて
貼り替えます。



- 8 お子さまの手の届かないところに保管してください。

アレサガ[®]テープ使用中に あらわれることのある症状

以下のような症状があらわれることがありますので、
注意してください。

- 眠気を感じる
- 体がだるい、
体の力が抜けた感じがする
- 口の中が乾く
- 貼った場所が赤くなる、
かゆくなる

このお薬を使用中には、眠気を催すことがありますので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作をしないようにしてください。
さらに、日常生活に支障がみられることがありますので、このお薬を使う際には、医師や薬剤師から十分に説明を受けるようにしてください。

皮膚症状があらわれた場合の対策

気になる症状があらわれた場合は、
医師や薬剤師に相談してください。

症状に応じてステロイド外用剤・内服薬を使用します。

皮膚症状が軽症～中等症の場合

ステロイド外用剤を使用します。

重症または接触性皮膚炎症候群・全身性接触皮膚炎の場合

ステロイド外用剤やステロイド内服薬を使用します。

アレサガ[®]テープの使い方

Q & A

Q1 粘着面に触れてしまった場合、 どうしたらよいですか？

お薬の粘着面に触れた手で目を触らないようにしてください。
お薬の粘着面に触れた手は石鹸で洗ってください。

Q2 お薬がはがれ落ちた場合、 どうしたらよいですか？

直ちに新しいお薬に貼り替えてください。次に貼り替えるタイミングで、
新しいお薬を貼ってください。

※はがれ落ちて貼り替える場合も、同じ位置に貼らず、貼る位置を替えて貼ってください。

貼り替えのタイミング（イメージ）

—はがれ落ちた場合の貼り替えのタイミングも含む—

通常の貼り替えのタイミングは、
前回貼ってから24時間後になります。

前回貼った時点

次回の貼り替え

アレサガ[®]テープ
4mg

アレサガ[®]テープ
8mg

はがれ落ちたら、
新しいお薬に貼り替え



貼り替え

アレサガ[®]テープ
4mg

アレサガ[®]テープ
8mg

Q3 貼る場所はどこでもよいですか？

指定された場所以外の部分に貼ると、副作用があらわれたり、十分な効果が得られないことがあります。
指定された場所に貼ってください。

Q4 はがし忘れて、別の場所にもう1枚貼って しまいました。どうしたらよいですか？

まず、はがし忘れたお薬をすぐはがして、1枚にしてください。
気になる症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

Q5 貼ったまま入浴は可能ですか？

貼ったまま入浴すると、はがれてしまうことがありますので、入浴前にはがし、入浴後に新しいお薬を貼ることをおすすめします。

Q6 貼り忘れた場合はどうしたらよいですか？

貼り忘れに気づいたときは新しいお薬を貼ってください。
次回以降は、本来の貼り替えのタイミングで貼り替えてください。



医療機関名